

醜悪な老婆からキュートな女子まで カンボジアの「アープ」映画



岡田 知子

カンボジアのアープは、タイのピー・クラスー、フィリピンのマナナンガルなど東南アジア諸地域の伝承に類似したもので、夜になると頭部に内臓がつながった状態で浮遊し、汚物や小動物を食べる、と伝えられている。

本稿では、カンボジア史上初の「アープ」映画である『我が子よ、母はアープ』以後に制作された「アープ」映画を、**a)** ジャンル、**b)** 時代、**c)** 物語の舞台、**d)** 主な登場人物とともにあらすじで制作年順に紹介する¹⁾。

■『アープを焼き尽くす炎』(2004)

a) ホラー、**b)** 前近代、**c)** カンボジア北西部のシエムリアップ州。アンコール遺跡が有名、**d)** オーン(村娘)、ブラック(オーンの恋人)、パン(オーンの母/アープ)、ホム(村長の息子)、ニー(ホムの妻)、呪術師

貧しくも美しい村娘オーンは青年ブラックと恋仲である。村長の息子ホムは親の決めた相手ニーとすでに結婚しているが、ニーのことは顧みず、オーンを力づくで奪おうとする。オーンは自分の母親がアープであることを知らず、「ホムが暴力を振るってきた」と訴える。ホムは何かの光が背中に入り原因不明の病に倒れる。呪術師は「これはアープの仕業である」と断定し、ホムの体を叩きながら、アープの魂がホムの尻から出てくるように呪文を唱える。そして「アープとなって胴体から出た時に胴体だけとなった体をうつ伏せにすれば、アープの威力がおさまる」という。

村人たちはアープを退治するために、呪術師に言われた通りに実行しようとオーンの家に来たため、オーンは母がアープであることを知る。呪術師の呪文の力に負けたアープの魂がホムの体から出た後、村人たち

はオーンの家を放火してアープを焼き尽くしてしまう。村人はオーンもそのうちアープになるからといって焼き殺そうとするが、呪術師は「オーンはまだアープになっていない、だから殺す必要はない」という。

オーンとブラックは寺院にいて、祈りを捧げる。僧侶は「母親のために回向すれば、その魂は鎮まる」という。一方ホムは、自分の行いがオーンの母を死なせ、悲劇をもたらしたことを後悔し、オーンとブラックに謝罪する。

■『アープ』(2004)

a) ホラー、**b)** 現代、**c)** カンボジア西部のバタンバン州。カンボジア第2の都市がある、**d)** マーンヤーン(村娘/16年後にアープ)、マーンヤーンの祖母(アープ/16年後に幽霊)、ポリカ(マーンヤーンの娘)、カエウ(マーンヤーンの家のお手伝い)、ソター(プノンペンから来た考古学専攻の大学生)、元チンピラのリーダー、僧侶、祭司²⁾、呪術師

マーンヤーンは祖母から結婚の許しをもらえないまま妊娠5か月になっている。村祭りの夜、マーンヤーンと恋人はチンピラに絡まれ、恋人は死に、マーンヤーンはレイプされる。それをアープとなって木の上にいる祖母が目撃し、祖母の唾液が、気を失って倒れていたマーンヤーンの唇に落ちる。

16年後。ソターを中心とする考古学専攻の8人の学生グループが遺跡調査実習のためバタンバンに来る。宿泊先はマーンヤーン、16歳の娘ポリカ、お手伝いのカエウが暮らす大きな伝統的家屋だった。

ある日、マーンヤーンはかつてのチンピラどもに復讐を決行することを決意、幽霊となった祖母の棺が安置してある、家の中の秘密の空間で夜中に祈祷する。

1) アープを題材にした短編アニメ作品も複数あるが本稿では扱わない。

2) 出家経験のある男性で、僧侶のマネージャーのような役割を果たす。

アープとなって窓から飛び出すマーンヤーンを、宿泊している学生たちもポリカも目撃する。定期的にマーンヤーンはカエウを伴って寺に供物をもっていくが、僧侶に寄進するのはカエウに任せ、自らは寺院の中には入らない。僧侶は読経、瞑想をすれば平安が得られるという伝言をカエウにする。

一方、学生たち4人は興味本位で棺が安置されている秘密の空間に行ってしまう。怒った祖母の幽霊は「入ってきた学生たちを皆殺しにせよ。さもなければマーンヤーンとポリカはアープの魂の力で殺されてしまうだろう」とマーンヤーンに言う。4人の学生たちはアープの姿を見て驚いたり、祖母の霊が乗り移ったりして次々と死んでしまう。

ソターはポリカに結婚を申し込む。しかしマーンヤーンは「絶対に男の言葉を信じてはならない」とポリカにソターに会うことも禁止する。ポリカとソターは山頂の寺院で祈りを捧げる。そこにいた祭司がお守りにと古いナイフをソターに渡す。元チンピラのリーダー格の男は、夜、呪術師に祈祷してもらう。そこに祖母の幽霊とアープとなったマーンヤーンが現れる。呪術師は幽霊に首を絞められて死ぬ。

元リーダー格の男は、僧侶からお守りを渡されるが、それを外した途端に、妻にマーンヤーンの祖母の幽霊が乗り移り、男の首を絞めようとしたため、男は妻を刀で殺してしまう。続いて祖母の幽霊は男に乗り移り、ソターに切りかかるが、その刀は男自身に刺さる。ソターはアープとなったマーンヤーンを古いナイフで殺してしまう。ポリカは嘆くが、ソターは「これでお母さんに平安が訪れたのだ」という。

■『逆立ち髪のソンポーン』(制作年不明³⁾)

a) ホラー、b) 前近代、c) 地方の村、d) クマウとソーの祖母(アープ/幽霊)、クマウ(年上の孫娘/アープ/幽霊)、ソー(年下の孫娘)、ソック(青年/ソンポーンの父)、ソンポーン(ソーとソックの娘/幽霊)、ポーン(ソンポーンの恋人)、呪術師

髪が逆立っているソンポーンはお化けのようだと言われ、村人から嫌われていて、優しくしてくれるのは恋人ポーンだけである。ソンポーンの父サックは過去を回想する。

3) 出演者や画質、音声などから2000年代半ばあたりに制作されたと考えられる。

あばら家に老婆と孫娘のクマウとソーがいる。青年サックは老婆が「我々には継承者が必要」と話しているところを盗み見てしまう。昼間、伝統楽器を弾きながら二人の孫娘と親しくしているサックを千里眼で確認した祖母は怒り、サックに呪いをかけ、腹痛を起こさせる。サックが身に付けていた猪の牙の首飾りと祖母の数珠が光って対決し、サックが勝つ。それ以来、祖母は体調を崩し、クマウに茶碗に入ったものを飲ませ、後継者としたところで死ぬ。

ソーとクマウはアープの子と村人から言われるようになる。満月の夜、幽霊となった祖母が現れ「クマウ、早くアープになれ」と言い、クマウはアープになる。ソーはクマウが後継者になったことに気づく。夜、アープになったクマウを退治するべく呪術師が来るが、幽霊となった祖母に首を絞め殺される。ある晩、アープとなったクマウは村人たちに追いかけられ、殺されてしまう。サックは頭部のないクマウの体を見て、アープだったことに気が付く。

時がたち、サックとソーには、髪の毛が醜く逆立った一人娘ソンポーンがいた。満月の夜、幽霊となったクマウが現れ、ソーに後継者になるよう促すが、ソーは同意せず舌を噛んで死ぬ。

ソンポーンは髪こそ逆立っていたが美しい娘だったので村中の男たちが狙っていた。夜、ポーンとソンポーンが親しくしているのをサックは見、「二人が夫婦になれるよう隠居するから」といって家を出ていく。ポーンがソンポーンの家に移住しようとした夜、ソンポーンは村の男たちにレイプされたため、舌を噛んで死ぬ。男たちはソンポーンの遺体を埋める。ソンポーンは幽霊となってポーンの元に戻り夫婦として暮らす。ソンポーンは自分をレイプした男たちを次々と殺す。ポーンはソンポーンが幽霊であることに気づくが、一緒にいることを望む。しかしソックと友人たちは、幽霊と人間はともに暮らすことはできないと説得する。そこに呪術師がやってきてソンポーンを殺す。

■『ヘルメットをかぶったアープ』(2012)

a) コメディ、b) 現代、c) 地方、d) レアカナ(アープ)、レアカナの夫

プノンペンに住む若い男女のグループが、新聞に掲載されていた田舎の幽霊の出る家に興味本位に訪れる。夜、外で不審な物音を聞いた若者グループの男た

ちは、泥棒だと思って石を投げたところ、その村に住むアーブである若い女レアカナの額にぶつかる。レアカナは翌朝、自転車に安全に乗るために夫にヘルメットを買ってきて欲しいという。若者グループの男たちは何も知らずに美しいレアカナが独身だと思い、家に遊びに行くが、夫が帰宅したので逃げ出す。レアカナは夜になると、寝ている夫に呪文をかけ、ピンクのヘルメットをつけ、アーブになって出ていく。夜中、ありとあらゆる幽霊やお化けたちと人間が入り混じってボクシング大会となる。

■『キュートなアーブちゃん』(制作年不明⁴⁾)

a) コメディ、b) 現代、c) 地方、d) 美しい若い女性(アーブ)、チョム(村長の息子)、僧侶

村長の息子チョムが友人と酔っぱらって夜道を歩いていると、垣根にひっかかっていた緑の光を放つ美しい若い女のアーブに遭遇し、逃げ出す。夜、アーブがチョムに息を吹きかけ、スナエ⁵⁾をかけたせいで、チョムはアーブの女を好きになり、正式に結婚を申し込みたいという。それを知った母親は仰天する。

またある日の夜、アーブは村人が仕掛けた罠にかかってしまうが、チョムがはずしてやる。そこへ僧侶がやってきて、アーブに「これ以上、村人たちに悪いことをせず、良い行いをするように」というが、アーブは「ここから去らなければ、内臓を食ってしまうぞ」と脅して僧侶をも追い払う。

実はこのアーブは僧侶の別れた妻だった。女はスナエをかけては若いハンサムな男を次々と恋人にして、とうとうアーブになってしまったのだった。村長夫婦と意気投合した僧侶は、夜、アーブの家に行き、胴体だけになっているアーブの体を隠す。帰ってきたアーブに対し、村長たちは、徳を積んでこれまでの悪事を洗い流すよう説得する。アーブは胴体を返してもらう約束で、言うことに従い、立ったままの胴体に内臓から入っていく。

アーブの女は修行者となって寺に居住する。チョムは首が抜け出ないようにと、女の首を白い布で巻く。そして「アーブの女がかわいいから結婚したい」と宣言するのだった。

4) 出演者や画質、音声などから2000年代半ばあたりに制作されたと考えられる。

5) 惚れさせる呪術。

■『恋人はアーブ』(2012)

a) ホラーコメディ、b) 現代、c) 地方/首都プノンペン、d) ロムチョン(ソニタの母、アーブ)、ソニタの祖母(幽霊)、ソニタ(大学生)、テヴィ(ソニタの同級生)

アーブであるロムチョンは、「娘のソニタがプノンペンの大学に進学すること許可してほしい」と幽霊となったソニタの祖母に墓前で懇願する。祖母は継承者がいなくなるからと不服だが、最後には許可する。美しく堂々としているソニタはプノンペンの大学で同級生のテヴィから事あるごとに嫌がらせをされるが意に介しない。

ロムチョンはソニタの祖母から「ソニタに危機が迫っている」と言われ、プノンペンに行く。自分の婚約者がソニタに言い寄ったことから、テヴィはソニタを痛めつけようとするが、アーブとなった母ロムチョンと幽霊の祖母も現れてソニタの危機を救う。テヴィは雇った男たちにソニタとロムチョンを捕らえさせ、銃で撃つが、ロムチョンがソニタをかばって死ぬ。ロムチョンからアーブの魂が抜け出て消える。

■『ヘルメットをかぶったアーブ2』(2013)

a) コメディ、b) 現代、c) 首都プノンペン、d) レアカナ(アーブ)、チーチー(レアカナの従妹)

レアカナはプノンペンで一人暮らしをしている従妹チーチーのところにピンクのヘルメットを持参して遊びに行く。都会の家は戸締まりが厳重で自由に入りにできず、外は電線が多くて浮遊することもままならず、汚物もないため、食べ物を探すのに苦労する。チーチーの誕生日パーティーに招待されて来たのは、かつてレアカナに田舎で会い、彼女の正体を知っている、若者グループの男たちだった。アーブの姿のまま家を閉め出されたレアカナをチーチーは受け入れ、抱きしめる。友人たちも理解を示し、迎え入れる。この後、幽霊、お化け、人間が入り混じってゾンビとなって暴れまわる。

■『ハイソなアーブ、009』(2013)

a) コメディ、b) 現代、c) カンボジア南部のカンポート州、海岸や国立公園が有名、d) ソン(アーブ、ポムミアの祖母)、ポムミア(女子学生/アーブ)、お手伝いの娘、チョーン(村長の息子)、祭司

夏休みになり、女子学生ポムミアと友人たちはカ

ンポート州に住む祖母ソンの家に遊びに行く。ソンは
お手伝いの娘と暮らしている。翌朝、ポムミアたちは
町で村長の息子チョーンたち不良に絡まれる。ポムミ
アは夜、祖母がアープとなって出ていくのを見てし
まう。ポムミアを気に入ったチョーンは彼女を襲おう
とするが、アープとなった祖母が助けに来る。その後、
アープとなったポムミアは、前世の業のためにアープ
になったと祭司に言われる。祭司が息をふきかけると、
ポムミアの頭は体に戻る。

■『アープの継承者』(2018)⁶⁾

a) ホラー、b) 前近代、c) 地方、d) ラチャナ(村娘)、
ソン(ラチャナの祖母/幽霊)、ポップ(ラチャナの恋
人)、リアトレイ(村娘)、女修験者

ソンばあさんが死んだ。孫娘ラチャナは一人ぼっ
ちになったが恋人ポップが寄り添う。ポップはラチャ
ナとの結婚を望んでいるが、リアトレイをはじめとす
る村の女たちは気に入らない。リアトレイは他の男に
お金を渡してラチャナに悪さをさせようとするが、ラ
チャナは難を逃れる。ラチャナを襲おうとした男はソ
ンばあさんに首を絞められ内臓を破られ死んでしまう。

リアトレイは、呪術に長けた女修験者に会いに行き、
スナエの呪文を学ぶ。しかし毎晩、懸命に呪文を唱え
ているうちに、アープになってしまい、外を浮遊して
汚物を食べるようになる。翌朝自分がアープになった
ことに驚いたリアトレイは、布を頭に巻き付けて太陽
の光を遮りながら、女修験者に助けを求めに行く。だ
が「それは自分の業によるものだから助けることは
できない」と拒否される。

翌日、村の女たちが川で洗濯をしながらアープの噂
をしている。「アープは内臓が2メートルも垂れてい
て、目玉は鶏の卵ぐらいの大きさ、自らの業でアープ
になってしまうのだ」と。夜、アープになったリアト
レイは、農具を手にした村人たちに追いかけられ、内
臓を傷つけられ、叫びながら逃げるのだった。

■『アープ夫人』(2019)

本作品は筆者未見である。予告編からは、若い男女

6) 本作品の監督であるキム・サウソピアルットはカンボジアの貧
困家庭の青少年の教育充実を目的としたNGOカルナ・ユース・
カンボジア(<https://www.kyc-info.org/>(最終閲覧日2020年
1月9日))を創設、活動している。本作品の出演者は同NGO附
属の子ども劇団カルナ・チームのメンバーである。

のグループが遺跡を訪れたところ、タイムスリップし
て過去に行ってしまう、そこでアープやさまざまな妖
怪や亡霊と遭遇する、という内容が含まれていること
がわかる。作品のポスターには、後ろ向きに座った1
人の若い男性と正面を向いて座っている3人の若い
女性が配置され「彼らのうちの誰が後継者となるの
だろうか」というキャッチコピーが書かれている。

映画

凡例：邦題 ①原題、②英題、③監督、④製作年、⑤
製作国、⑥使用言語、⑦日本での公開。

『アープを焼き尽くす炎』①ភ្លើងរំលោភ、②不明、
③ホン・バーン、④2004、⑤カンボジア、⑥カ
ンボジア語、⑦未公開

『アープ』①អាប់、②Ab、③コアム・チャンティー、
④2004、⑤カンボジア、⑥カンボジア語、⑦
未公開

『逆立ち髪のソンボーン』①សំពោងសក់ជំរុំ、②不明、
③不明、④不明、⑤カンボジア、⑥カンボジア
語、⑦未公開

『キュートなアープちゃん』①មន្តស្នេហ៍អួនអាប់、
②不明、③リー・チャンディー、④不明、⑤カ
ンボジア、⑥カンボジア語、⑦未公開

『恋人はアープ』①ស្នេហាអួនអាប់、②不明、③ウイ・
パリット、④2012、⑤カンボジア、⑥カンボ
ジア語、⑦未公開

『ヘルメットをかぶったアープ』①អាប់ពាក់មួកសុវត្តិភាព、
②Arb Wearing a Helmet、③リアク・リダ、④
2012、⑤カンボジア、⑥カンボジア語、⑦未
公開

『ヘルメットをかぶったアープ2』①អាប់ពាក់មួកសុវត្តិភាព
ផ្នែក២、②Arb Wearing a Helmet II、③リアク・
リダ、④2013、⑤カンボジア、⑥カンボジア語、
⑦未公開

『ハイソなアープ、009』①អាប់កាលីប័រ០០៩、②
不明、③不明、④2013、⑤カンボジア、⑥カ
ンボジア語、⑦未公開

『アープの継承者』①ទាយាទអាប់、②不明、③キ
ム・サウソピアルット、④2018、⑤カンボジア、
⑥カンボジア語、⑦未公開

『アープ夫人』①ម៉ាដាមអាប់、②Ghost of Madam
Arp、③フオ・ソボル、④2019、⑤カンボジア、
⑥カンボジア語、⑦未公開